

尾崎が優勝 女子 河内は準V 男子

全日本Jr.選抜
室内テニス

テニスのJOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選抜室内選手権最終日は27日、三木市のブルボンビーンズドームであり、女子1位トーナメントでは、決勝で尾崎里紗(ロイヤルヒル81TC、神戸市垂水区在住)が日比野菜緒(岡山学芸館高)を破って優勝した。

男子1位トーナメントは、後藤翔太郎(三重・四日市工高)が河内一真(兵庫・相生学院高)との決勝を制した。

【男子】1位トーナメント3位決定戦 齊藤(兵庫・相生学院高)6-4、6-4渡辺(愛知・名古屋経大市郵高)△同決勝

後藤翔太郎(三重・四日市工高)2-6、10-14河内一真(相生学院高)6-3、6-1
▽2位トーナメント3位決定戦 長船(京都・東山高)6-2、7-5竹元(相生学院高)▽同決勝 杉本(神奈川・湘南工大付高)7-5、6-2梶下(広島・瀬戸内高)▽3位トーナメント3位決定戦 塚越(福岡・柳川高)6-1、6-2井上(柳川高)△同決勝 大西(クラーク高)6-4、7-5堀切(相生学院高)▽4位トーナメント3位決定戦 切詰(香川・高松北高)6-2、6-3大槻(福

尾崎、猛攻に耐え抜く

中学2年の時以来、3年ぶりに日比野との対戦に臨んだ尾崎。「積極性

が向上していた」という相手の猛攻に耐え、2時間45分に及ぶ熱戦をものにした。



女子1位トーナメントで激闘を制して優勝した尾崎里紗

女子1位トーナメント決勝。第2セットの12ゲーム目で再三マッチポイントを握られたが、ここから粘りを発揮した。冷静にボレーを決め、サーブミスで6-6に持ち込むと、そのままこのセットを奪取。10ポイントのファイナルセットは相手のミスもあり、最後は5連続ポイントで試合を決めた。

相手の強打に対し、リターンが軽くなる課題は解消できなかったというが、「自分から攻めていけばポイントにつながるものが分かった」と収穫もあった。来春にプロ転向を見据えるホープは、「ジュニアのグラブドスラム(四大大会)で結果を残したい。2013年の全豪オープン予選に出たい」と夢を膨らませていた。(橋本 薫)

島・安積高)▽同決勝 諱(長野・松商学園高)6-2、6-4村上(北海道・旭川高専)【女子】1位トーナメント3位決定戦 小林(千葉・秀明八千代高)6-3、6-2山本(兵庫・園田高)▽同決勝

尾崎里紗(ロイヤルヒル81TC)6-1、7-6日比野菜緒(岡山学芸館高)10-14、6-3
▽2位トーナメント3位決定戦 加治(園田高)2-6、6-4、10-4寺見(岡山・山陽女高)▽同決勝 足立(埼玉・花咲徳栄高)6-3、6-14林(福井・仁愛女高)▽3位トーナメント3位決定戦 鶴飼(岐阜・恵那農高)6-1、6-3川筋(香川・英明高)▽同決勝 吉富(愛知・相山女学園高)6-3、6-13梶谷(東京・富士見丘高)▽4位トーナメント3位決定戦 橋(福島・日大東北高)棄権勝ち 宮原(佐賀清和高)▽同決勝 辻(東京・早実高)7-6、6-3寺林(北海道・旭川実高)

男子1位トーナメント優勝・後藤翔太郎(ラッセル)1セットを制し、「1セット目は攻守のメリハリがあったが、2セット目は足が動かなかった。我慢していればチャンスが回ってくる」と信じていた

同2位・河内一真(優勝を逃し)「イーージーミスが多く、リズムを崩して相手を乗せてしまった。緊張して手だけで打ってしまう場面があったので、きっちりポジションに入って打たない」と

◆アイスホッケーアジア・リーグ第34日(26日・春川||韓国ほか)日本製紙(勝ち点25)5-4ハイワン(韓国、29)、フリーアレイズ(22)3-2チャイナドラゴン(中国、0)